



外国出張報告書

平成 27 年 4 月 22 日

1. 出張国名 タイ、ラオス
2. 出張月 平成 27 年 1 月
3. 出張目的
 1. 森林生態系の炭素収支解明及び省力化手法の開発
 2. 林産物の持続的生産のための休閑林の管理手法の開発
 3. 森林の炭素蓄積能力及び林産物収穫許容量の評価

: C

4. 成果の概要

森林観測プロでは、人工林の生産量調査を開始し、Nakhon Ratchasima 県の Sakaerat 造林研究ステーション、Khon Kaen 県の東北タイ樹木種子保全センター内の人工林にリタートラップを設置した。

インドシナ農山村プロでは、森林科学研究センターおよび Namuang 村内の植栽試験地において、乾期の植栽苗の光環境の調査をおこなった。樹下植栽の苗では、雨期と比べ乾期は高い開空度であった。また、林内の光環境と植栽苗の成長の関係を調べるために植栽苗の成長量調査をおこなった。

持続的林業プロでは、チークを所有する農家と現地の技術普及職員に対して、平成 24 年度主要普及成果である「東北タイにおけるチーク植栽土壌適地図」の普及を目的とした現地セミナーを開催した。公共林の調査では竹林の成長量調査をおこない、毎木調査と出現した樹木の材の採集をおこなった。